

各機関の取組状況及び新たな取組の提案

【 目 次 】

1) 関川・姫川流域の減災に係る取組概要	1
2) 今後の進め方について	18

1) 関川・姫川流域の減災に係る取組概要(様式2)

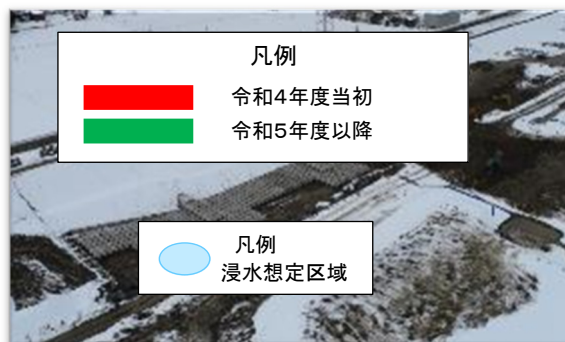
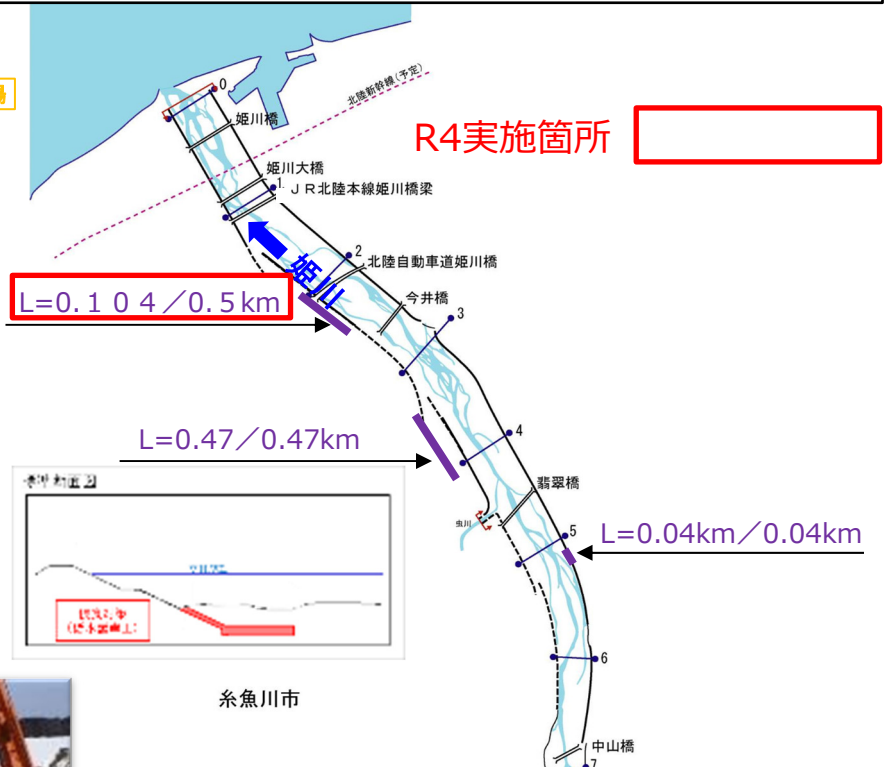
(様式2-取組概要)

様式作成機関：高田河川国道事務所

カテゴリー	ハード対策（河道掘削・急流河川対策・河道拡幅）
内容	洪水を安全に流すため、及び危機管理型のハード対策の推進
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

(姫川) 洪水を安全に流すハード対策の令和4年度末時点の整備状況:堤防侵食対策（岩木護岸着手）

堤防侵食対策：糸魚川市岩木地先



R4施工状況（埋戻前）



根固めブロック据付状況



カテゴリー	ハード対策（河道掘削）
内 容	洪水を安全に流すため、河道維持掘削の推進
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

〈関川〉洪水を安全に流すハード対策の令和4年末時点の整備状況：河道掘削



カテゴリー	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	有識者を招いた水災害教育の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所、国立大学法人上越教育大学

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校 4年生を対象に、出前講座「川の防災学習」を実施しました。

【実施概要】

- ・ 対 象：上越市立春日新田小学校4年生（2クラス 計63名）
- ・ 内 容：第1回（R4.10.18）：川の防災に関する基礎学習
 - ・ 災害の種類、過去の水害、洪水が起こる理由などについて授業しました。
- 第2回（R4.10.20）：川の防災に関する現地学習
 - ・ 洪水時に危ない場所や避難場所の確認や、水害体験者からの聞き取りを行いました。
- 第3回（R4.11.01）：川の防災に関する自己学習
 - ・ 校区内にある洪水時に危ない場所や避難場所を子供たちに調べてもらいました。



第1回 基礎学習の様子



第2回 現地学習の様子



第3回 自己学習の様子

カ テ ゴ リ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	水防災等に関する出前講座の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

高田河川国道事務所では、出前講座を活用し、流域の小中学校5校271名に水防災等に関する説明を行いました。小中学生向け検討ツールを活用しながら、マイ・タイムラインについて学びました。

【実施概要】

〈関川流域〉	①R4.06.15 (水)	上越市立稲田小学校4年生	59名
	②R4.07.12 (火)	上越市立有田小学校4年生	100名
	③R4.09.15 (木)	上越市立南川小学校4年生	41名
	④R5.01.27 (金)	上越市立大和小学校4年生	34名
〈姫川流域〉	①R5.03.09 (木)	糸魚川市立田沢小学校4年生	37名



上越市立有田小学校での出前講座の様子



上越市立南川小学校での出前講座の様子



上越市立大和小学校での出前講座の様子

カテゴリー	流域治水推進のための水害リスク情報の充実に向けた取組の実施
内 容	関川・姫川『多段階の浸水想定図』及び『水害リスクマップ』の公表
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

高田河川国道事務所では、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表しました。

上越地域の川と道路の総合サイト

国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所

文字サイズ 検索

事務所 事業紹介 河川 道路 入札・契約 リンク

ホーム > 河川 > 防災・災害 > 関川・姫川 水害リスクマップ・多段階の浸水想定図

関川・姫川 水害リスクマップ・多段階の浸水想定図

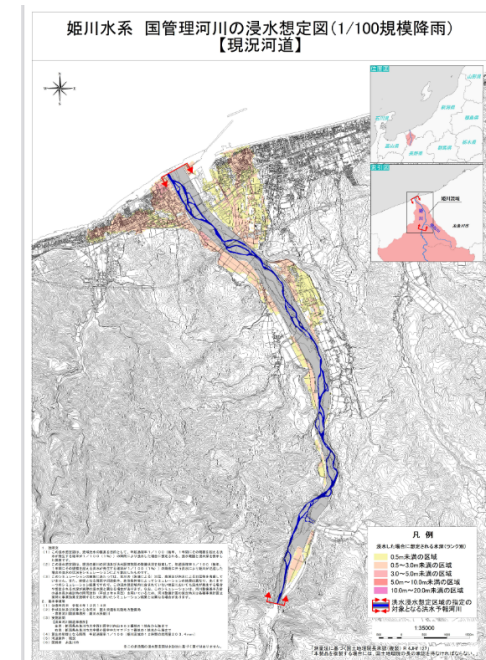
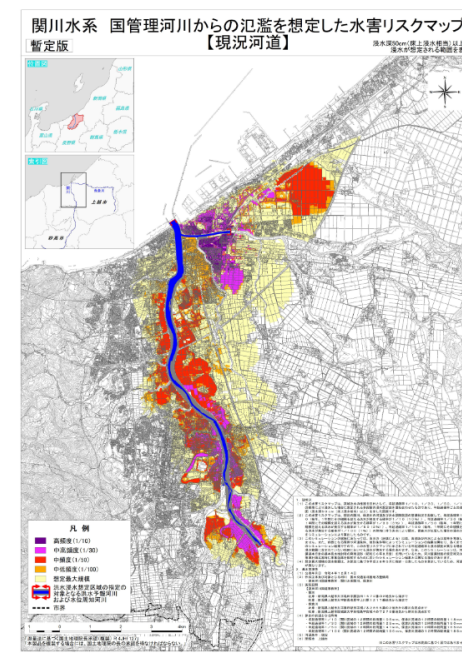
関川・姫川 水害リスクマップ・多段階の浸水想定図

- 国や都道府県では、これまで、水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「浸水想定区域図」を作成し公表してきました。
- 国土交通省では、これに加えて、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表することとしました。
- なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川の氾濫のみを示しておりますが、今後は、国管理河川以外の河川氾濫や下水道等の内水氾濫も考慮した図を作成・公表していくこととしています。

<水害リスクマップ>

河川条件	浸水深		
関川	90cm 以上	500cm 以上	3000cm 以上
姫川	90cm 以上	500cm 以上	3000cm 以上

<多段階浸水想定図>



【公表状況】

●高田河川国道事務所ホームページ

<https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/river/8216/index.html>

●国土交通本省 水管理・国土保全局

https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/risk_map.html

カ テ ゴ リ	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	重要水防箇所の合同巡視の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

新潟県と関係自治体、消防署、消防団とが合同で、出水時に注意が必要な重要水防箇所や樋門・樋管などの河川管理施設の確認を行うとともに、水防資材の備蓄状況の点検も実施しました。

【実施概要】

〈関川流域〉

- ・ 実施場所：①関川上流域（月岡防災ステーション、飛田新田 等）
②関川下流域（下箱井水防倉庫、塩屋排水樋管、春日新田水防倉庫 等）
- ・ 実施時期：①令和4年6月2日
②令和4年6月7日

〈姫川流域〉

- ・ 実施場所：姫川流域（西中緊急資材倉庫、大前水位観測所 等）
- ・ 実施時期：令和4年6月2日



関川 水防資材備蓄状況の点検、重要水防箇所の確認

姫川 水防資材備蓄状況の点検、重要水防箇所の確認

カ テ ゴ リ	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	水防連絡会（令和4年度関川・姫川水防連絡会総会）、情報伝達訓練の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

関川・姫川における水害の防止又は軽減のために、関川・姫川水防連絡会総会を開催し、水防に関する連絡及び調整を図りました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和4年4月27日(水)
- ・会 場：web会議開催
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会

洪水時の迅速な情報共有を図るため、各関係機関とともに情報伝達訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和4年4月26日(火)
- ・会 場：高田河川国道事務所 災害対策室 ほか
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会



関川・姫川水防連絡会 総会状況



情報伝達訓練の状況

カテゴリー	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
内 容	水防実働訓練の実施
実施主体	北陸地方整備局、新潟県、上越市、糸魚川市、妙高市ほか

令和4年5月15日、関川・姫川水防連絡会（高田河川国道事務所、上越地域振興局地域整備部、糸魚川地域振興局地域整備部、上越市、糸魚川市、妙高市、上越地域消防局、上越地域振興局農林振興部、中部電力(株)）による関川水防訓練を上越市鴨島地先にて実施しました。

訓練には、総勢272人が参加し、水防工法の訓練を行いました。令和4年度は排水ポンプ車と消防車を連結した協同放水訓練を実施しました。



●シート張り工－堤防法面への設置



●積み土のう工－土のう積み作業



●木流し工－堤防法面への設置



●月の輪工－土のう据付・土砂充填



●協同放水訓練－放水作業



●車両展示－排水ポンプ車、照明車

カテゴリ	ハザードマップ活用研修
内 容	地域の防災リーダーを対象にハザードマップ活用研修を実施
実施主体	上越市

地域の防災リーダーを対象に、自主防災組織の防災訓練等において、地域の災害リスクを正しく理解し適切な避難行動がとれるよう、洪水ハザードマップをはじめとした各種ハザードマップの活用方法などの研修会を実施しました。

【実施概要】

- ・ 対象地区：直江津地区他10地区
- ・ 対象者：町内会長、防災委員、防災士
- ・ 実施日：令和4年12月3日（土）～令和5年3月25日（土）



直江津区での説明会の様子



三和区での説明会の様子



諏訪区での説明会の様子

カテゴリー	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
内 容	防災リーダー研修の開催
実施主体	糸魚川市

令和4年3月12日、糸魚川地区公民館及び能生生涯学習センターを会場に、令和3年度防災リーダー研修を開催し、地すべり災害における避難や復興の対応状況のほか、感染症対策を踏まえた分散避難等について研修しました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和4年3月12日（土） 糸魚川・能生の2会場（WEBで接続）
- ・ 参加者：自主防災組織・自治会の役員等 63地区86名（自宅からのWEB参加含む）
- ・ 内 容：来海沢区長による「来海沢地すべり災害」の避難や災害対応を通して感じた課題や体験談を講演
その他、感染症対策を踏まえた分散避難の説明、災害時の要配慮者への対応についてグループワークによる意見交換を実施



来海沢区長による講演



分散実施（能生会場・WEB）



グループワークの様子

カ テ ゴ リ	実践的な研修・訓練の実施
内 容	水害などにより避難所を開設する場合に備え、避難所運営研修を実施
実 施 主 体	妙高市

水害などにより避難所を開設する場合に備え、自主防災組織の役員や防災士、避難所の施設管理者及び開設担当の市職員など、避難所の運営に携わる方々を対象に「避難所運営研修会」を、令和4年度は、妙高高原地域と妙高地域において実施しました。（新井地域はR3年度に実施）

【実施概要】

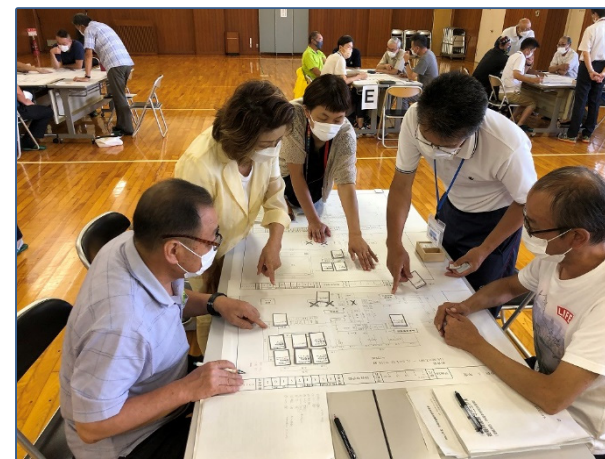
- ・ 日 時：令和4年9月11日（日） 9:30~11:30 妙高高原メッセ （34名参加）
13:30~15:30 妙高ふれあいパーク（36名参加）
- ・ 内 容：避難所ごとに役割分担やレイアウト、運営マニュアルの確認。HUGの実施。
- ・ HUG講師：公益社団法人 中越防災安全推進機構 野村裕太さん



避難所ごとにグループワーク（妙高高原地域）



避難所ごとにグループワーク（妙高地域）



避難所運営ゲームの様子（妙高地域）

カテゴリー	円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項の実施
内 容	河川内の伐木および河道掘削
実施主体	新潟県 上越地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流下させるため、河川内の伐木と河道掘削を実施しています。また、堤防の侵食・崩壊の進行を遅らせるため、堤防天端舗装も実施しています。

【R4実施河川】

- ・ 伐木、河床掘削 矢代川ほか7河川で実施。引き続き実施予定。
- ・ 堤防天端舗装 戸野目川で実施。



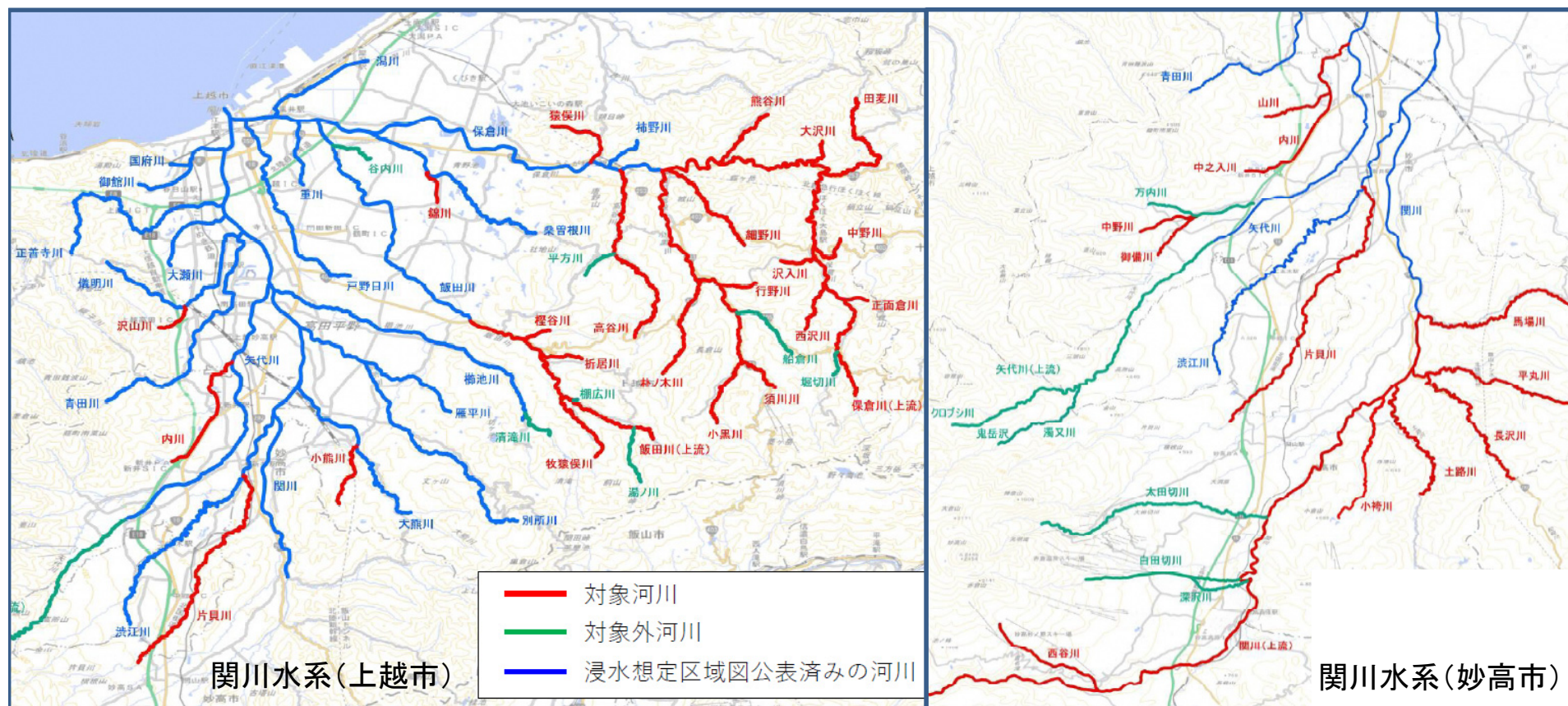
一級河川 関川ほか（伐木）



一級河川 戸野目川（堤防天端舗装）

カテゴリー	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内 容	想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
実施主体	上越地域振興局地域整備部

● R3水防法改正⇒ 洪水浸水想定区域の指定対象を「周辺に住宅等の防護対象がある河川」まで拡大し、水害リスク情報空白域を解消



✓ 関川水系においても、簡易解析手法を活用し
新たに35河川※で洪水浸水想定区域図を作成 ⇒ 今後、公表を予定

※関川・保倉川・飯田川の上流未指定区間を含む。

カテゴリー	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内 容	マイ・タイムライン作成の普及促進・支援
実施主体	新潟県上越地域振興局 地域整備部

上越地域振興局地域整備部では、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し主体的な避難行動により人命を守るため、中学生・高校生を対象としたマイ・タイムライン作成支援『新潟県マイ・タイムライン教室』の取組を実施しています。

【令和4年度の実施状況】

- 令和4年 7月7日(木) 10:40～12:30 (3,4限) 上越市立中郷中学校 2年生 22名
 - 令和4年10月11日(火) 12日(水) 13:20～14:00 県立高田特別支援学校 高等部2年生 5名
 - 令和4年10月27日(木) 10:30～11:30 直江津地区公民館(学びの交流館) 一般(防災士を含む) 20名
 - 令和5年 1月27日(水) 13:40～15:30 (5,6限) 上越市立浦川原中学校 全校 72名
- ～上記の他、県社会科教育研究会(教職員の勉強会)における講演で、取組の紹介と活用の呼びかけを実施～

マイ・タイムライン教室の様子
(中郷中学校)



ハザードマップの見方や警戒レベルの意味などについて学習

グループワークで避難前の準備、避難時の注意点、災害から身を守るために自分たちができることを話し合い、発表



2時間の学習成果を踏まえ、各自が「マイ・タイムライン」を仕上げた

カテゴリー	河道維持
内 容	洪水を安全に流すための対策の推進
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流すため、河川内掘削と伐木を実施しました。

【実施河川】（姫川水系）

■河川維持工事

- ・釜田川（糸魚川市西中）
- ・下大野川（糸魚川市大野）



釜田川着手前（2022年4月撮影）



釜田川竣工（2022年6月撮影）

カ テ ゴ リ	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	出前講座 を実施
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

糸魚川地域整備部では、家庭や地域の防災意識の向上を図るため、学校教育を通じて、これまでの災害の歴史や災害への備え、災害時に命を守る行動を解説する「出前講座」を、市立下早川小学校において実施しました。

【実施概要】

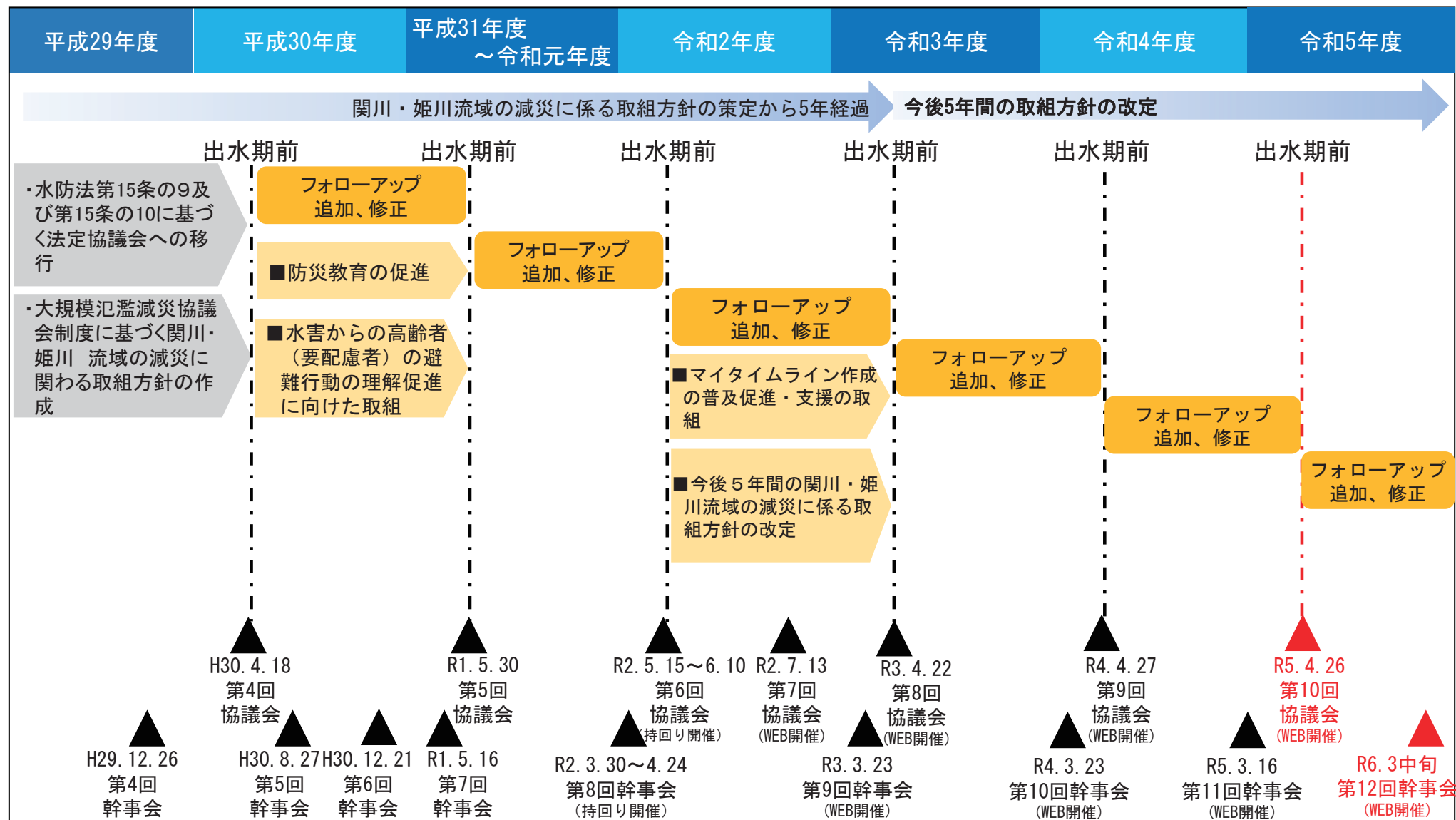
- ・ 日 時：令和4年10月6日
- ・ 対 象：糸魚川市立下早川小学校 4年生 12名
- ・ 内 容：座学「早川地区の災害と防災対策」
現場見学（砂防施設建設現場）



2) 今後の進め方

今後の進め方

- 幹事会及び協議会は毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認するとともに、実施した取組について習熟、改善を図るなど、継続的なフォローアップを毎年行う。



※以降のスケジュールは適宜設定する

